

報道関係者各位

2025年5月29日

株式会社イード

(東証グロース：コード 6038)

**イード、自動車総合情報プラットフォーム「レスポンス」のビジネス会員が3万人を突破  
～AIの活用やSDV化などソフトウェア開発に関する内容にも対応**

株式会社イード（本社：東京都中野区、代表取締役：宮川 洋）が運営する自動車総合情報プラットフォーム「レスポンス（<https://response.jp/>）」は、ビジネス会員の登録数が3万人を突破しました。



■レスポンスビジネス会員について

レスポンスビジネス会員では、自動車・モビリティの業界キーマンが登壇するビジネスセミナーや、EVのみならず、SDV・ソフトウェアなどにも焦点を当てて、今の自動車業界に必要な幅広い知識を30分で身に付けられるリスキリング講座が視聴可能。また、業界を深く分析した調査レポートや会員限定記事を通じて、自動車業界の変革に対応できる力を養うことができます。法人会員の場合、料金は2名12か月で264,000円（税込）よりサービスを提供しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<https://response.jp/pages/info/members.html>

■ビジネス会員のための5大コンテンツ

レスポンスでは、自動車産業の最新情報に興味関心を持つ読者のために各種のコンテンツをご用意しています。

1. ビジネスセミナー

大人気のセミナーシリーズ「中西孝樹の自動車・モビリティ産業インサイト」は、毎回OEMのキーマンをゲスト講師に迎えSeason3となりました。同じくシリーズセミナーで「【池田直渡の着眼大局セミナー】第8回 スズキの中期経営計画におけるインド事業と“次の10億人”へのアプローチ」を6月30日に開催予定。その他、「サイバートラックの分解から見えるテスラの現在地とそこから日本自動車業界が執るべき電動車（xEV）戦略」「CES2025調査報告～メガトレンドの変遷と日本企業の取るべき戦略～」 「どうする？

BEV・内燃機関は？米大統領選・欧州議会選の影響と将来シナリオ」「独り大喜利 どうなる？2025年の自動車業界～電動化戦略により明暗くっきり～」 「中国NEVの新競争軸2025 特許情報起点で炙り出す～SDV、自動運転、通信、スマートコックピット～」など、自動車業界のトピックス、キーマンを招いたオンラインセミナーを毎月4回以上タイムリーに開催。セミナー開催後はアーカイブでも視聴できます。

**Season 3** 中西孝樹の自動車・モビリティ産業インサイトvol.4  
**ソニー・ホンダモビリティ CES25の振り返りと米国での事業活動**  
 オンライン会場  
 2025.4.4 金 10:00 ~ 11:30  
 モデレーター ナカニシ自動車産業リサーチ代表アナリスト 中西孝樹氏  
 ゲスト講師 ソニー・ホンダモビリティ株式会社代表取締役 会長兼CEO 水野泰秀氏

**池田直渡の着眼大局セミナー 第8回**  
**スズキの中期経営計画におけるインド事業と“次の10億人”へのアプローチ**  
 モデレーター 自動車ジャーナリスト / 自動車経済評論家 池田直渡氏  
 ゲスト講師 スズキ株式会社 代表取締役 社長 石井直己氏  
 ゲスト講師 Next Bharat Ventures 社長 ヴィブール・ナット・シンダール氏  
 2025.6.30 月 16:30 ~ 18:00

**オンラインセミナー**  
**サイバートラックの分解から見えるテスラの現在地とそこから日本自動車業界が執るべき電動車(xEV)戦略**  
 ゲスト講師 名古屋大学 工学部 工学研究科 電気工学専攻 教授 山本 真義氏  
 モデレーター スズキマシナリー株式会社 代表取締役 技術企画部 (C&D) 鈴木 万治氏  
 2025.6.17 火 10:30 ~ 12:00

**オンラインセミナー**  
**【どうする？BEV・内燃機関は？】米大統領選・欧州議会選の影響と将来シナリオ**  
 2024.12.10 火 10:45 ~ 12:00  
 講師 TKPMGコンサルティング株式会社 プリンシパル 轟木 光氏

## 2. リスキング講座

EVのみならず、SDV・ソフトウェア、自動運転、バッテリー・充電インフラに関する知識、世界の主要なxEV市場、中国新エネ車市場などにも焦点を当て、今の自動車業界に必要な幅広い知識を身に付けられます。

◆このような方におすすめです。

- ・自動車業界を目指す学生や新入社員
- ・セミナーを視聴する前に基礎講座を利用したい方
- ・EV、SDV、自動運転の基礎やビジネスを学びたい方
- ・中国の自動車ビジネスに興味・関心が高い方
- ・eラーニングで理解度を測りたい方

(レスポンスビジネス法人会員オプション1人あたり550円(税込)/月)

## 3. 調査レポート

自動車産業の各分野を整理・分析した調査レポートを提供。「インドにおけるモビリティ市場調査～12社(四輪・三輪・二輪)の最新動向～」 「電動化とサーマルマネジメント～Volkswagen・TESLA・BYD～」

「中国スマートカー（智能車）の最新動向～開発力のある OEM・サプライヤー～」 「メガサプライヤー調査（アイシン、住友電工、FORVIA 編）」 「ギガ・キャスティングの最新動向～中国新興 OEM が採用を進める～」 など、インドや中国関連のレポートが人気です。

調査対象

iid エグゼクティブサマリー 1/2

iid

■ 本レポートでは、インドにおける販売台数の多い主要な四輪・二輪・三輪メーカーに取り上げる

| 分類     | メーカー名                       | ロゴ  | 2023年販売台数 <sup>*1</sup> |
|--------|-----------------------------|---|-------------------------|
| 四輪メーカー | Maruti Suzuki               |  | 174万台                   |
|        | Tata Motors                 |  | 93万台                    |
|        | Mahindra & Mahindra         |  | 69万台                    |
|        | Ashok Leyland               |  | 18万台                    |
| 二輪メーカー | Bajaj Auto                  |  | 1,165万台                 |
|        | Hero MotoCorp               |  | 542万台                   |
|        | TVS Motor (TVSM)            |  | 315万台                   |
|        | Ola Electric                |  | 15万台                    |
|        | Okinawa Autotech            |  | 9万台                     |
| 三輪メーカー | Piaggio Vehicles (PVPL)     |  | 4万台                     |
|        | Mahindra Last Mile Mobility |  | 3万台                     |
|        | Terra Motors                |  | n/a                     |

<sup>\*1</sup> 乗用車・商用車合計、インド国内

出所：マーズ・ライズ、各種公開情報

Maruti Suzuki

iid

■ インド最大の自動車メーカーで、スズキとの合併企業、小型車を中心に幅広い車種を展開  
■ 2024年に初のEV「eVX」を発売予定。SUV市場でシェア拡大、新型Swift・Dzireも投入

| 企業情報  | 代表車種  |
|---|---|
| 会社名<br>Maruti Suzuki India Ltd.<br>設立年<br>1981年<br>所在地<br>インド ニューデリー<br>代表者<br>Hisashi Takeuchi (CEO)<br>上場市場<br>NSE (National Stock Exchange of India)<br>株価指標 <sup>*1</sup><br>約3,416.44ドル<br>(約6,128円、2024年12月末時点)<br>主要株主<br>Suzuki Motor Corp. (54.27%), etc.<br>売上高 <sup>*1</sup><br>1,416.6億ドル (約2,522億円、2023年度)<br>販売台数<br>174.2万台 (2023年度) | <br>WagonR<br><br>Baleno<br><br>eVX |

<sup>\*1</sup> 1INR=180JPYで換算

出所：MarketScreener, Marklines, 各種公開情報

■ モビリティ市場概観（インド）

- ・ インドのモビリティ市場は、先進主要国とは異なり、二輪・三輪のライトモビリティが83%を占める
- ・ 国策およびEVの技術成熟・価格低下により、全市場でEV化は進みつつも、充電インフラ整備の課題は依然あり

|        | 自動車市場   |   |   |   | 二輪市場  |   | 三輪市場  |   |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|
|        |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 市場規模   | 販売台数の17%  |   |   |   | 販売台数の79%  |   | 販売台数の4%   |   |
| 使用用途   | 自家用   |   | 商用  |   | 自家用/商用  |   | 商用  |   |
| 分類     | ガソリン乗用車   |   | EV乗用車   |   | ガソリン二輪車   |   | EV二輪  | オートリキシャ (ガソリン三輪)  |
| 駆動力源   | ガソリン/ガス   |   | 電気  |   | ガソリン  |   | 電気  | eリキシャ (EV三輪車)   |
| 主要メーカー | Maruti Suzuki<br>Tata Motors<br>Mahindra  |   | Tata Motors<br>Mahindra<br>Ashok  |   | Hero<br>Bajaj<br>TVS Motor  |   | Ola Electric<br>Okinawa-Autotech<br>Piaggio<br>Bajaj<br>Mahindra                    | Mahindra<br>テラモーターズ   |
| 主要価格帯  | ～100万円程度  |   | 200万円～  | 70万円～   | 140万円～  | ～20万円程度   | ～35万円程度   | ～30万円程度   |
| EV化動向  | 2030年までに新車販売の30%をEVにする目標  |   |   |   | 2030年までに新車販売の70%をEVにする目標  |   | 2030年までに新車販売の80%、保有台数の25～35%がEVに  |   |
|        |   |   |   |   | 2030年までに新車販売の80%  |   | 2030年までに新車販売の80%、保有台数が65～75%がEVに  |   |

出所：テラモーターズ、三井物産戦略研究所、KPMG、マーズ・ライズ、各種公開情報

Maruti Suzuki

iid

■ インド最大の自動車メーカーで、スズキとの合併企業、小型車を中心に幅広い車種を展開  
■ 2024年に初のEV「eVX」を発売予定。SUV市場でシェア拡大、新型Swift・Dzireも投入

| 企業情報  | 代表車種   |
|---|--|
| 会社名<br>Maruti Suzuki India Ltd.<br>設立年<br>1981年<br>所在地<br>インド ニューデリー<br>代表者<br>Hisashi Takeuchi (CEO)<br>上場市場<br>NSE (National Stock Exchange of India)<br>株価指標 <sup>*1</sup><br>約3,416.44ドル<br>(約6,128円、2024年12月末時点)<br>主要株主<br>Suzuki Motor Corp. (54.27%), etc.<br>売上高 <sup>*1</sup><br>1,416.6億ドル (約2,522億円、2023年度)<br>販売台数<br>174.2万台 (2023年度) | <br>WagonR<br><br>Baleno<br><br>eVX |

<sup>\*1</sup> 1INR=180JPYで換算

出所：MarketScreener, Marklines, 各種公開情報

#### 4. ビジネス会員限定記事

CASE 関連の最新情報や「自動車業界株価ウォッチ」「人事情報」などもお届けしています。自動車業界の最新報道に加え、展示会レポート、開発者インタビュー、業界を深掘りする独自視点の連載や解説記事も配信。

#### 5. メールマガジン

毎週、オススメのビジネス記事をピックアップして紹介するほか、トヨタとテスラの最新の動きが週次でわかる「トヨタウォッチ」「テスラウォッチ」を配信。

#### ■ レスポンスについて

20年以上に渡って“いま”のクルマを商品・ビジネス・社会の3つの視点で立体的に捉え、さらにIT・デザイン・環境の面からも付加価値創造の手助けをすることをモットーとして、日々情報発信を続ける日本最大級の自動車総合情報プラットフォームです。国内のみならず、自動車関連のグローバルな情報を、業界の最前線からいち早く読者にお届けしています。

URL : <https://response.jp/>

■本リリースに関するお問合せ：

メディア事業本部 オートモーティブ事業部 担当：山本

URL：[https://www.iid.co.jp/contact/media\\_contact.html?recipient=response](https://www.iid.co.jp/contact/media_contact.html?recipient=response)

広報担当

URL：[https://www.iid.co.jp/contact/pr\\_contact.html](https://www.iid.co.jp/contact/pr_contact.html)

株式会社イード 〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー17 階

<https://www.iid.co.jp/>